

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係  
事務事業 02557 スポーツセンター施設管理事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 岩井 政喜  
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001 健康			
項目（施策）	002 2スポーツ			
施策の方針	003 スポーツ施設環境の整備			
事務事業	004 スポーツセンター施設管理事業			
事業期間	平成13年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	しくみづくり	マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	259,876	244,196
事業費	0	248,536	232,856
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	48,601	52,310
一般財源	0	199,935	180,546
人件費計	0	11,340	11,340
正規（人）	0.00	1.80	1.80
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修のため、平成31年度に実施する改修工事のための改修計画を作成	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修のため、平成31年度に実施する改修工事のための設計を行う

# 事務事業評価シート (2/2)

2頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分48秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係  
事務事業 02557 スポーツセンター施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
施設利用者数	人	0.00 0.00	199,500.00 211,723.00	205,000.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	スポーツセンターと同様の施設は他にありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの方に利用していただいております、市民ニーズが多い施設です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	体育館改修工事の影響もあり、多くの方に利用いただきました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	窓口管理等を委託することで効率的な管理を行っています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準は他自治体と比較して問題ありません。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	平成31年度に実施予定の改修工事に向けて、計画を作成しました。 次年度は設計を実施し、特定天井の改修や老朽化した施設の改修の詳細を決定していきます。 スポーツは市民一人ひとりが健康で、日々の生活に生きがいや感動を見出し生きている喜びを実感できる「健幸（ケンサチ）」のまちづくりに欠かすことができません。 今後も、市民が安心して利用できる施設を目標に管理、運営していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分48秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係  
事務事業 02559 レジャープール施設管理事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 岩井 政喜  
電話番号 0566-75-3535

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001 健康			
項目（施策）	002 2スポーツ			
施策の方針	003 スポーツ施設環境の整備			
事務事業	003 レジャープール施設管理事業			
事業期間	平成11年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	しくみづくり	マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、適切な施設の管理運営を行います。
事務内容	適正な施設の運営管理のための指定管理者へのモニタリング、施設設備の修繕等

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	103,172	373,576
事業費	0	98,132	368,536
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	130,000
一般財源	0	98,132	238,536
人件費計	0	5,040	5,040
正規（人）	0.00	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		レジャープールの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修のため、平成30年度に予定する改修工事のための設計を実施	レジャープールの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修工事を実施

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756010 スポーツ施設管理係  
事務事業 02559 レジャープール施設管理事業  
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
施設利用者数	人	0.00 0.00	204,500.00 229,845.00	141,000.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内にはレジャープールと同様の設備はありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	昨年よりも多くの利用があり、市民ニーズが多い施設です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標以上の利用者がありました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を利用し、効率的な管理を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準については他自治体と比較して問題ありません。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	施設の老朽化が目立ってきています。 次年度は特定天井の改修にあわせて、老朽化した施設の改修を実施します。 スポーツは市民一人ひとりが健康で、日々の生活に生きがいや感動を見出し生きている喜びを実感できる「健幸（ケンサチ）」のまちづくりに欠かすことができません。 今後も、市民の皆さまが安全で安心してレジャープールを利用できるように管理していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

5頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分48秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係  
事務事業 02561 屋外体育施設管理事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 岩井 政喜  
電話番号 0566-75-3535

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	001 健康				
項目（施策）	002 2スポーツ				
施策の方針	003 スポーツ施設環境の整備				
事務事業	002 屋外体育施設管理事業				
事業期間	昭和41年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	しくみづくり	マニフェスト	○	地方創生	健幸
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例				
備考					

## 【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕・改修等

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	640,680	208,514
事業費	0	624,300	192,134
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	335,466	22,582
一般財源	0	288,834	169,552
人件費計	0	16,380	16,380
正規（人）	0.00	2.60	2.60
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）ソフトボール場A球場の改修、陸上競技場夜間照明設備の改修設計、野球場防球ネット改修設計	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）陸上競技場夜間照明設備の改修、野球場防球ネットの改修

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756010 スポーツ施設管理係  
事務事業 02561 屋外体育施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
施設利用者数	人	0.00 0.00	289,200.00 285,025.00	289,200.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	一部の施設は民間等で実施していますが、全体としては不十分です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	利用者も多く、市民のニーズが多い施設です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	多くの方に利用していただいています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	管理を委託するなどし、事務改善を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準は他自治体と比較して問題ありません。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成28年から実施していました、ソフトボール場A球場の改修工事が終了し、ソフトボール女子日本リーグの開催が可能な球場となりました。 他の屋外施設も多くの方にご利用いただいています。 スポーツは市民一人ひとりが健康で、日々の生活に生きがいや感動を見出し生きている喜びを実感できる「健康（ケンサチ）」のまちづくりに欠かすことができません。 今後も、市民の皆さまが安心して利用できるように、施設の管理を行います。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分48秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係  
事務事業 02562 体育館施設管理事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 岩井 政喜  
電話番号 0566-75-3535

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	003	スポーツ施設環境の整備		
事務事業	001	体育館施設管理事業		
事業期間	昭和54年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	しくみづくり	マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	1,553,621	86,916
事業費	0	1,542,281	75,576
国庫支出金	0	4,333	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	450,000	0
その他	0	106,859	19,085
一般財源	0	981,089	56,491
人件費計	0	11,340	11,340
正規（人）	0.00	1.80	1.80
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） 非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修のため、大規模改修工事を実施	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756010 スポーツ施設管理係  
事務事業 02562 体育館施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
施設利用者数	人	0.00 0.00	28,920.00 29,725.00	214,500.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内には安城市体育館以外に体育館施設はありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	年間20万人の利用があり、市民ニーズが多い施設です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	改修工事前の2カ月間の利用でしたが、多くの利用者がありました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	窓口業務を委託に出すなどし、効率的な事務を実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準は他自治体と比較して問題ありません。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成29年度は老朽化した施設を改修しました。 安城市体育館は市民のスポーツの拠点となる施設です。 スポーツは市民一人ひとりが健康で、日々の生活に生きがいや感動を見出し生きている喜びを実感できる「健幸（ケンサチ）」のまちづくりに欠かすことができません。 今後も、市民の皆さまが安心して利用できる体育館を目標とし、施設管理を行っていきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分57秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02563 地域スポーツ振興事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 武内 雅子  
電話番号 0566-75-3535

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興		
事務事業	006	地域スポーツ振興事業		
事業期間	昭和41年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生 健幸
根拠法令等	スポーツ推進委員に関する規則、小中・県立学校施設開放実施要綱			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・地域スポーツ振興事業 ・歩け・ランニング運動事業 ・総合型地域スポーツクラブ育成事業 ・市民地域スポーツ交流会開催事業 ・学校施設スポーツ開放事業			

## 【事業分析】

対象	普段あまりスポーツをしない市民が
目的	スポーツをするきっかけとなります。
手段	普段あまりスポーツをしない人にスポーツを体験してもらったり、スポーツする人にも経験のない種目を体験してもらうなど、からだを動かす楽しさを感じてもらいスポーツ実施者の増加を図ります。
事務内容	スポーツ推進委員について、スポーツ推進委員の機関紙「マイスポーツ安城」だけでなく、生涯学習広報誌「あんでな」に紹介記事を掲載するなどさまざまな手段を使いPRを行いました。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	49,954	32,042
事業費	0	40,819	24,482
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	2,851	5,000
一般財源	0	37,968	19,482
人件費計	0	9,135	7,560
正規（人）	0.00	1.45	1.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		地域スポーツ振興事業 市民地域スポーツ交流会事業 学校施設開放事業 歩け・ランニング運動	地域スポーツ振興事業 市民地域スポーツ交流会事業 学校施設開放事業 歩け・ランニング運動

# 事務事業評価シート (2/2)

2頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分57秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02563 地域スポーツ振興事業

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
地域スポーツ振興事業参加者	人	0.00	9,000.00	0.00	9,000.00	0.00	9,000.00
		0.00	8,894.00	0.00	8,894.00	0.00	8,894.00
市民地域スポーツ交流会参加者	人	0.00	4,400.00	0.00	4,400.00	0.00	4,400.00
		0.00	3,460.00	0.00	3,460.00	0.00	3,460.00
学校施設スポーツ開放利用者	千人	0.00	260.00	0.00	260.00	0.00	270.00
		0.00	273.00	0.00	273.00	0.00	273.00
歩け・ランニング運動参加者	人	0.00	7,800.00	0.00	7,800.00	0.00	7,000.00
		0.00	7,183.00	0.00	7,183.00	0.00	7,183.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市で対応していくことが望ましいと考えます				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
理由	スポーツをするきっかけを作ります				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
理由	スポーツをするきっかけを作ります				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業内容を工夫して経費の見直しや効率化を検討しています				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業への参加者が激減していないことから適正と考えます				

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	スポーツ推進委員へケンサチ事業への協力依頼などがあり、委員の報酬見直しをしました。また、中学校の施設開放の受付事務を変更しました。スポーツをするきっかけづくりを増やすことができるように、できるだけ多くの大会や教室を企画し提供するなど、市民の方に気軽に参加してもらえるよう努めます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分57秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02564 スポーツ振興計画推進事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 河村 泰宏  
電話番号 0566-75-3535

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興		
事務事業	005	スポーツ振興計画推進事業		
事業期間	昭和53年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法第30条、第31条			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・スポーツ推進審議会運営事務			

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	教育委員会からの諮問に応じて、スポーツの推進に関する事項について調査審議し、その事項を建議する目的でスポーツ推進審議会を設置しています。 平成23年度にスポーツ基本法の改正があったことから、会の名称を「スポーツ推進審議会」としました。 第2次スポーツ振興計画策定委員会にて、具体的な計画の内容についての検討を行うことができました。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	424	1,427
事業費	0	109	167
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	109	167
人件費計	0	315	1,260
正規（人）	0.00	0.05	0.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		スポーツ推進審議会開催（2回）	スポーツ推進審議会開催（2回）

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02564 スポーツ振興計画推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	それぞれの市町村で計画策定しています		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	アンケートを実施して市民ニーズを調査しています		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業の進捗状況を把握し事務改善に努めています		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正であります		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	29年度は体育館の改修があり、利用実績に影響が出るのが予想されましたが、学校施設開放などを利用しての活動が見受けられ、利用者数は大きく減することはありませんでした。また、ホームチームサポーター事業や国際・全国大会誘致活動など、オリンピック開催の機運を本市でも高めるよう事業を周知してまいります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

5頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分57秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02565 野外センター開放事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 稲垣 浩二  
電話番号 0566-75-3535

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	001	14生涯学習その他		
事務事業	003	野外センター開放事業		
事業期間	昭和47年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市野外センターの設置及び管理に関する条例、管理に関する規則			
備考				

## 【事業分析】

対象	近代生活に慣れた市民が
目的	自然の尊さに気づくようになります。
手段	安城市の野外センターは、作手野外センターと茶臼山野外センターの2箇所あります。 6月から9月まで小中学校が利用しない日を一般に開放し、多くの市民の方に利用してもらっています。 1泊2日でファミリーキャンプを計画しています。
事務内容	利用申込みの際、利用手順や利用マナー等の指導をし、利用者同士が快適に過ごせる指導をしました。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	2,157	1,431
事業費	0	78	171
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	78	171
人件費計	0	2,079	1,260
正規（人）	0.00	0.33	0.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		野外センター一般開放 ファミリーキャンプ実施	野外センター一般開放 ファミリーキャンプ実施

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02565 野外センター開放事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
野外センター利用者	人	0.00	800.00	800.00
		0.00	1,068.00	0.00
ファミリーキャンプ参加者	人	0.00	50.00	50.00
		0.00	61.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	土・日を一般利用者に開放しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	自然と親しむことができる施設として利用者がいます		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	毎年同じ団体が利用している傾向にあります		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	ウォーキングイベントを開催しました		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	安城市が所有する野外センターの有効利用に努めています		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	ファミリーキャンプを開催したり、ウォーキングイベントを開催したりして、野外センターの利用や施設のPRに努めています。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分57秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02566 スポーツ活動表彰・激励事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 市川 洋子  
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001 健康			
項目（施策）	002 2スポーツ			
施策の方針	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	004 スポーツ活動表彰・激励事業			
事業期間	平成14年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市体育表彰選考要綱、安城市全国大会等激励金交付要綱			
備考				

【事業分析】

対象	各競技種目で活躍している市民の方が
目的	国際大会、全国大会等に出場する際に励みとなります。
手段	国際大会、全国大会等に代表選手として出場する市民の活躍を激励するため、全国大会等激励金交付要綱に基づき、激励金の交付を行っています。また、選手や指導者の功績をたたえ、励みになるよう全国大会等で優秀な成績を残した選手やスポーツの普及・発展に寄与した人の表彰をしています。
事務内容	激励金交付制度については、制度の周知を強化し、交付者の増加を図りました。 体育表彰制度については、体育協会加盟団体に照会して、優秀な成績を残した選手の把握に努めました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	5,050	3,479
事業費	0	2,089	2,219
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	2,089	2,219
人件費計	0	2,961	1,260
正規（人）	0.00	0.47	0.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		優秀選手等表彰 全国大会等出場者激励 金交付	優秀選手等表彰 全国大会等出場者激励 金交付

# 事務事業評価シート (2/2)

8頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分57秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02566 スポーツ活動表彰・激励事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
優秀選手等表彰	件	0.00	40.00	50.00
		0.00	81.00	0.00
全国大会等出場激励金交付	件	0.00	110.00	200.00
		0.00	251.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	全国大会に出場する選手へ激励金を渡しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	大会出場への励みになります		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	おおむね目標を達成できています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	多くの大会出場に対して支給できるよう要綱の見直しをしています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	要綱の見直しをしています		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	大会が多様化しており、優秀な成績を収めた選手を拾い出すことが難しい面があります。各協会からの情報提供を受けたりすることで表彰者をリストアップしています。また、国際・全国大会出場者も激励金制度を知ってもらうよう制度のPRにも努めます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02567 ホームチームサポーター事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 河村 泰宏  
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	001 健康				
項目（施策）	002 2スポーツ				
施策の方針	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興				
事務事業	003 ホームチームサポーター事業				
事業期間	平成27年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	スポーツに関心のある市民の方が
目的	地元の企業トップチームを応援することにより、より身近にスポーツに親しめるようになります。
手段	安城市をホームタウンとする全国レベルの企業チームを市民サポーターが応援することで、スポーツ活動のきっかけづくりや本市を全国へPRする機会の充実を図ります。また、技術指導会等を開催することで、ジュニア世代の競技力向上、技術向上につなげ次世代を担うトップアスリートの育成を図ります。
事務内容	平成28年5月に安城市ホームチームサポーター事業の立ち上げを宣言する「キックオフ式」を開催しました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	7,160	8,040
事業費	0	2,561	3,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	2,561	3,000
人件費計	0	4,599	5,040
正規（人）	0.00	0.73	0.80
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		ホームチームによるクリニック開催 応援バスツアー実施	ホームチームによるクリニック開催 応援バスツアー実施

# 事務事業評価シート（2/2）

10頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分57秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02567 ホームチームサポーター事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
安城市をホームチームとする全国レベルの企業チーム	チーム数	0.00 0.00	3.00 3.00	3.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	県の強化指定選手支援制度はあります		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	トップリーグ所属チームを応援します		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	おおむね計画通りに進んでいます		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業の進捗を会議に諮り確認しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	3チームを支援できるよう計画しています。バスツアーや観戦など、市民の皆さんに参加していただき、今後もチームを盛り上げていきます。チームからは指導会に来てもらうなど、ジュニア世代の競技力向上にも貢献してもらおうことができました。次年度以降も3チームの応援事業をはじめ、指導会や交流事業など、一人でも多くの市民の皆さんに足を運んでもらえるよう企画していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02568 シティマラソン・市民駅伝大会事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 鳥居 大祐  
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	001 健康				
項目（施策）	002 2スポーツ				
施策の方針	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興				
事務事業	002 シティマラソン・市民駅伝大会事業				
事業期間	昭和42年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	スポーツをしたいと考えている市民が
目的	ランニング・ジョギングに取り組むようになります。
手段	総合運動公園と市街地の約10キロを走るシティマラソンとデンパーク園内と周辺道路をたすきで繋いでいく市民デンパーク駅伝大会の開催を実行委員会へ補助金を出し運営しています。
事務内容	安城シティマラソンは、安全面の配慮から参加制限を設けました。市民デンパーク駅伝大会では、安全面の配慮からコースの一部変更を行うとともに、タスキ引継ぎの円滑化のため、中継所の位置を変更しました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	16,878	13,289
事業費	0	11,271	8,879
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	11,271	8,879
人件費計	0	5,607	4,410
正規（人）	0.00	0.89	0.70
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		シティマラソン開催（12/10） 市民駅伝大会開催（2/11）	シティマラソン開催 市民駅伝大会開催

# 事務事業評価シート (2/2)

12頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分57秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02568 シティマラソン・市民駅伝大会事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
シティマラソン大会参加者	人	0.00	0.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
		0.00	0.00	3,382.00	3,382.00	0.00	0.00
駅伝大会参加者	人	0.00	0.00	1,100.00	1,100.00	1,300.00	1,300.00
		0.00	0.00	1,614.00	1,614.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		2
		2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
		3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
理由	地域性の特色を生かした大会を開催しています				
2	必要性 市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
		2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
		3	市民ニーズはない又は不明である		
理由	参加者数は安定しています				
3	有効性 目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
		2	目標を下回る進捗状況である		
		3	進捗はかなり遅れている		
理由	大会を安全に開催するために、参加制限を設けています				
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
		2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
		3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
理由	受付事務の処理などを改善しています				
5	公平性 事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
		2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
		3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由	参加者からクレームなどはなく参加者の環境改善に努めています				

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成29年度は体育館の改修があり、マラソン大会開催は会場・コースの設営等に苦勞をしました。参加者は比較的横ばい状態ですが、仲間や職場有志で参加する市民も多く、これからも安全に開催できるよう努めます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02569 競技スポーツ振興事業

所属長名 名倉 建志  
担当者 鳥居 大祐  
電話番号 0566-75-3535

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001 健康			
項目（施策）	002 2スポーツ			
施策の方針	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	001 競技スポーツ振興事業			
事業期間	昭和47年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市スポーツ振興補助金交付要綱			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・スポーツ大会補助金管理事務 ・早朝野球大会事業 ・安城選手権大会事業 ・スポーツスクール（教室）開催事業 ・スポーツ観戦推進事業 ・スポーツ選手育成事業 ・スポーツ指導者育成事業 ・自主スポーツグループ育成事業			

## 【事業分析】

対象	競技スポーツに取り組む人、スポーツに関心のある市民の方が
目的	日ごろの成果やスポーツのきっかけとなる機会の充実を図ります。
手段	安城市競技ナンバー1を決める安城選手権大会の開催やスポーツを始めるきっかけづくりとして、スポーツスクール・教室の開催、西三河以上の持ち回り大会に対し運営経費の一部の補助を行っています。
事務内容	安城選手権大会、スポーツスクール・教室及び大会補助等について、NPO安城市体育協会に委託し、運営等を任せて実施しています。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	28,449	31,013
事業費	0	24,039	29,753
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	1,491	3,500
一般財源	0	22,548	26,253
人件費計	0	4,410	1,260
正規（人）	0.00	0.70	0.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		安城選手権大会開催 スポーツスクール・教室開催 スポーツ観戦推進事業	安城選手権大会開催 スポーツスクール・教室開催 スポーツ観戦推進事業

# 事務事業評価シート (2/2)

14 頁  
平成30年 8月 7日  
09時48分57秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係  
事務事業 02569 競技スポーツ振興事業

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
安城選手権大会参加者	人	0.00	4,000.00	0.00	4,000.00	0.00	4,000.00
		0.00	4,465.00	0.00	4,465.00	0.00	0.00
スポーツスクール・教室参加者	人	0.00	2,100.00	0.00	2,100.00	0.00	2,100.00
		0.00	1,755.00	0.00	1,755.00	0.00	0.00
補助金交付大会参加者	人	0.00	1,000.00	0.00	1,000.00	0.00	2,810.00
		0.00	1,134.00	0.00	1,134.00	0.00	0.00
スポーツ観戦推進事業参加者	人	0.00	300.00	0.00	300.00	0.00	150.00
		0.00	450.00	0.00	450.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	競技団体の育成をします			
2	必要性 市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
		2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3	市民ニーズはない又は不明である	
理由	多様な種目を経験できるような企画をすることも重要です			
3	有効性 目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2	目標を下回る進捗状況である	
		3	進捗はかなり遅れている	
理由	競技団体育成や競技力の向上に向けた事業を継続します			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業開催は体育協会などに委託しています			
5	公平性 事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業実施は内容を熟知している団体が行っています			

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	体育協会への委託事業として実施しています。事務改善を踏まえながら、経費の節約等を考えながら、事務の改善にも取り組む姿勢がありました。今後もスポーツを始めるきっかけづくりを継続していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。